

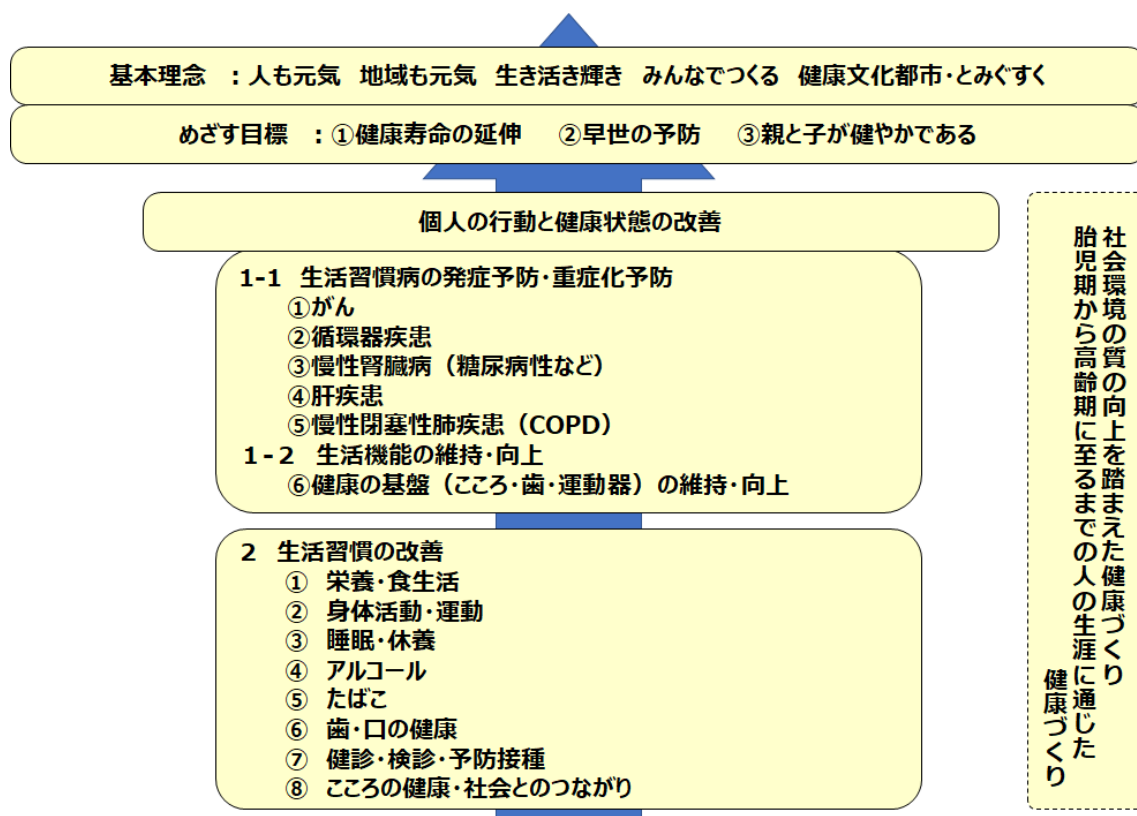
第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念と基本的な方向

基本理念： 人も元気 地域も元気 生き生き輝き みんなでつくる 健康文化都市・とみぐすく

「人も元気 地域も元気 生き生き輝き みんなでつくる 健康文化都市・とみぐすく」を基本理念とし、全体目標「①健康寿命の延伸 ②早世の予防 ③親と子が健やかである」の達成をめざし、以下のとおり、豊見城市の健康づくりの基本的方向を定めます。

現在の健康状態は、これまでの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性があること、また、次世代の健康に影響を及ぼす可能性があることから、胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯に通じた健康づくりに取り組みます。



2. めざす目標

本市の現状と課題を踏まえ、国及び県の方針を参考として、本市のめざす目標を前計画に引き続き以下の3つに設定します。

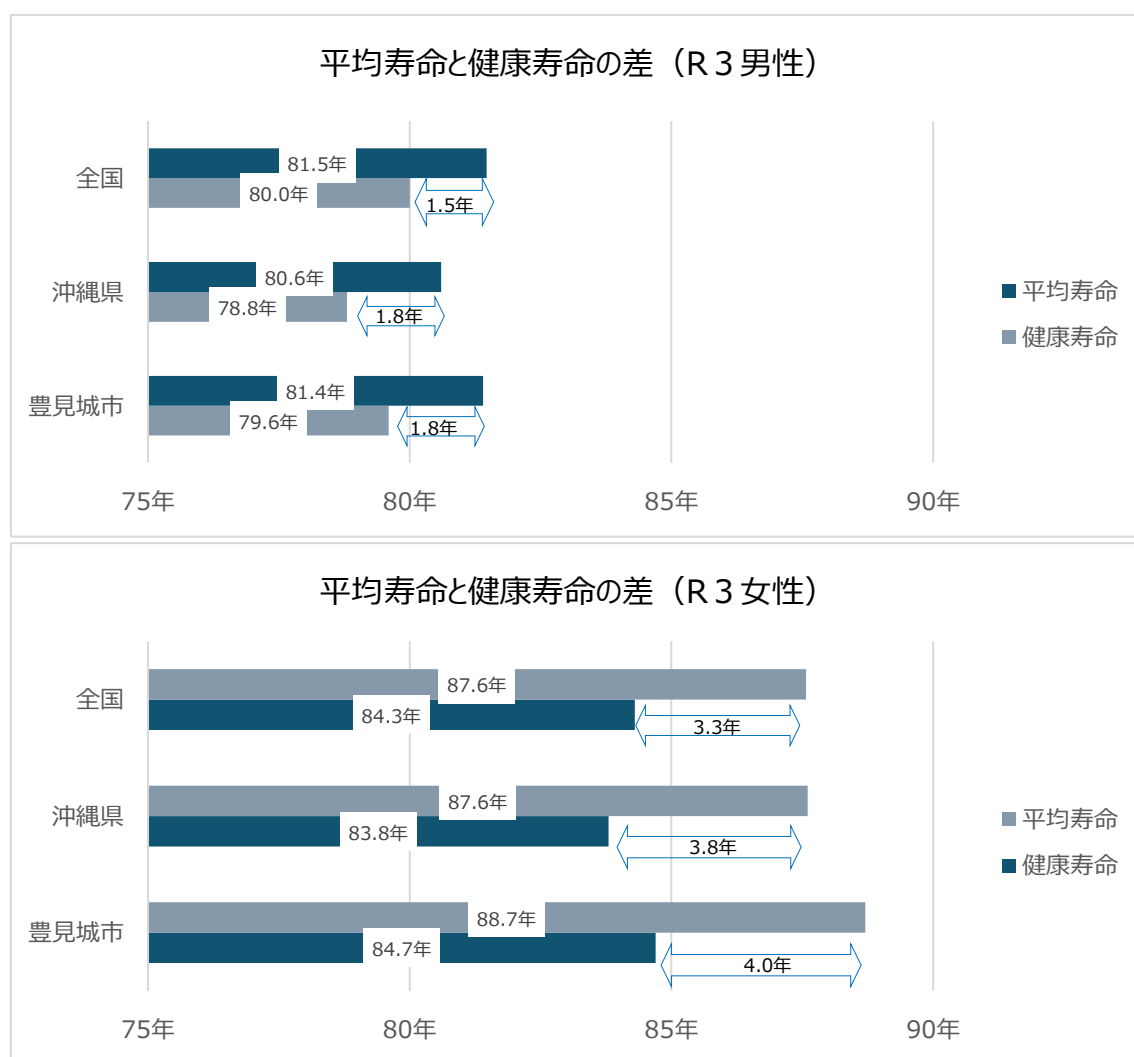
①健康寿命の延伸 ②早世の予防 ③親と子が健やかである

めざす目標	指標	現状	目標値 (令和18年度)
健康寿命の延伸	平均寿命増加分と健康寿命の増加分の差	平均寿命 男 81.4 年 女 88.7 年 健康寿命 男 79.6 年 女 84.7 年 (令和3年)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
早世の予防 (65歳未満の死亡率の減少)	20歳から65歳未満の死亡率の全国との差	※P43 参照 (令和2年)	全国との差の縮小
親と子が健やかである	低出生体重児の割合	12.0% (令和4年度)	評価時点で国の値をめざす

(1) 健康寿命の延伸

健康寿命とは、「日常生活が自立している期間の平均」のことです。高齢化の進展及び疾病構造の変化を踏まえ、生活習慣病の予防、社会生活を営むために必要な機能の維持・向上を図ることにより、健康寿命を延伸することが重要です。

豊見城市では令和3年度の平均寿命と健康寿命の差が、男性 1.8 年、女性 4.0 年となっており、国の男性 1.5 年、女性 3.3 年と比べると長くなっており、健康寿命を延伸することにより差を縮めることが重要です。



出典：沖縄県市町村別健康指標

※健康寿命の算定方法：以下①～③の3つの方法があり、それぞれ規定が異なります。

①「日常生活に制限のない期間の平均」

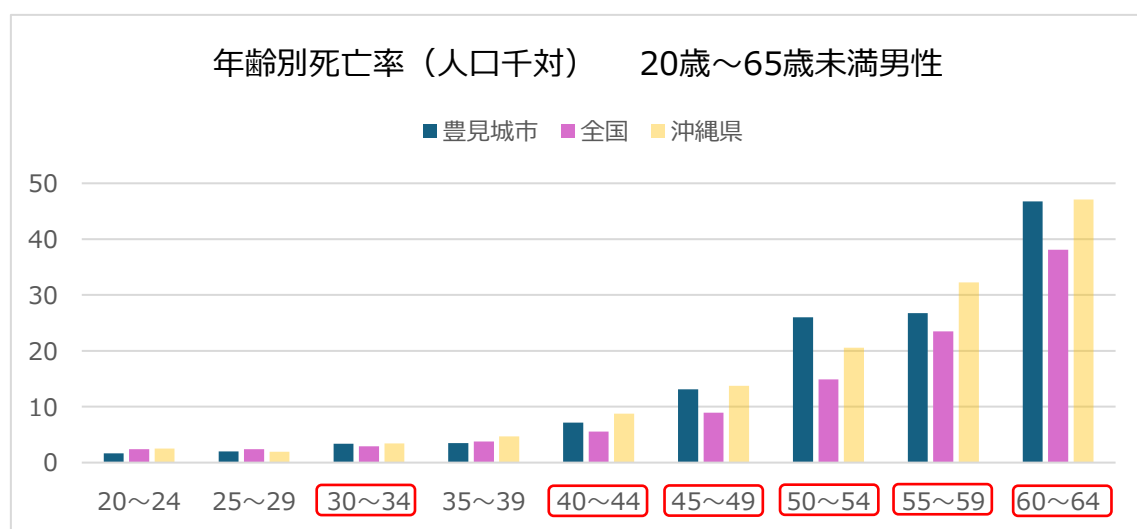
②「自分が健康であると自覚している期間の平均」

③「日常生活が自立している期間の平均」

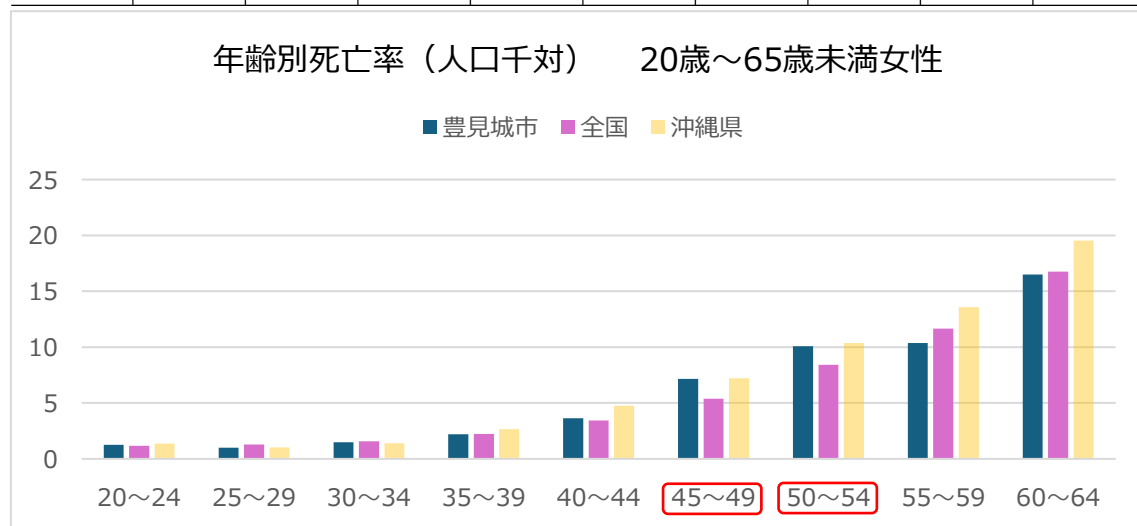
豊見城市では③で評価をします。介護保険の要介護認定数等により算出されます。①②は市町村単位での算出は困難です。

(2) 早世の予防（20～65 歳未満の死亡率の減少）

沖縄県においては 20 歳から 65 歳未満の働き盛り世代の死亡率が高いという課題があり、本市においても、全国と比較して 30 歳～64 歳の男性、45 歳～54 歳の女性の死亡率が高い状況にあり、市全体の健康水準を高めるためには、早世の予防に取り組むことが重要です。



男性	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64
豊見城市	1.64	1.99	3.39	3.51	7.13	13.13	26.01	26.77	46.73
全国	2.4	2.4	2.93	3.77	5.55	8.92	14.91	23.5	38.13
全国との差	-0.76	-0.41	0.46	-0.26	1.58	4.21	11.1	3.27	8.6
対全国比	68%	83%	116%	93%	128%	147%	174%	114%	123%



女性	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64
豊見城市	1.26	1.01	1.5	2.2	3.65	7.16	10.08	10.38	16.5
全国	1.17	1.28	1.58	2.23	3.45	5.37	8.43	11.67	16.77
全国との差	0.09	-0.27	-0.08	-0.03	0.2	1.79	1.65	-1.29	-0.27
対全国比	108%	79%	95%	99%	106%	133%	120%	89%	98%

出典：e-Stat（令和2年市区町村別生命表）

(3) 親と子が健やかである

ライフステージに特有な健康づくりにおいて、母子保健の取組が重要です。

妊娠期は、母体の健康状態、生活環境が胎児の成長に直接影響する時期であることから、妊娠期の健康保持のための生活習慣が大切です。将来の健康や特定の病気のかかりやすさは、胎児期や生後早期の環境を強く受けて決定されると言われています。

本市では、低出生体重児（2,500 g 未満）で生まれる割合が 10～12%前後で推移しており、国（約 9%）より高くなっています。（沖縄県の割合は 11%前後です。）低出生体重児は、発達の遅れ、将来の肥満、心疾患等の生活習慣病のリスクが高くなります。母体側の背景要因である高血圧、やせ、喫煙に関しては、妊娠前から母親の健康づくりによる予防が重要です。

乳幼児期は、心身の健やかな成長と人格形成において重要な時期であり、保護者、周囲の大人がこどもの成長発達について正しく理解し、こどもが望ましい生活習慣を形成できるよう関わる必要があります。

子育て世代が必要としている支援につながり、安心して子育てできるよう、地域社会と連動した切れ目のない支援体制の構築を目指します。

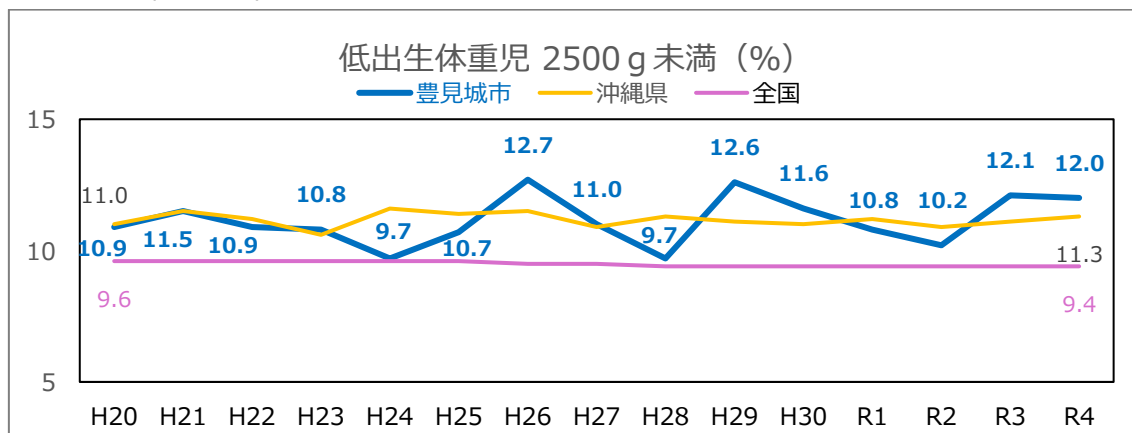
健康増進計画、母子保健計画、食育推進計画に共通する三つのめざす目標のうち、「③親と子が健やかである」については、前述のとおり低出生体重による出生を予防することが本目標のスタートであることから、指標を「全出生数中の低出生体重児の割合」とします。

母子保健の指標、取組の詳細については、第 6 章の母子保健計画で述べます。健康とみぐすく 21 に共通するめざす目標を実現するため、母子保健計画においては、妊娠期から子育て期、乳幼児期に特有な健康課題に着目し、基本方針を下記のとおり設定します。

- (1) 安全安心に妊娠・出産ができる
- (2) すべてのこどもが望ましい生活習慣を身につけ健やかに育つ
- (3) 安全安心な子育てができる

●低出生体重児の割合

・沖縄県と同様、全国より高い状況が続いています。

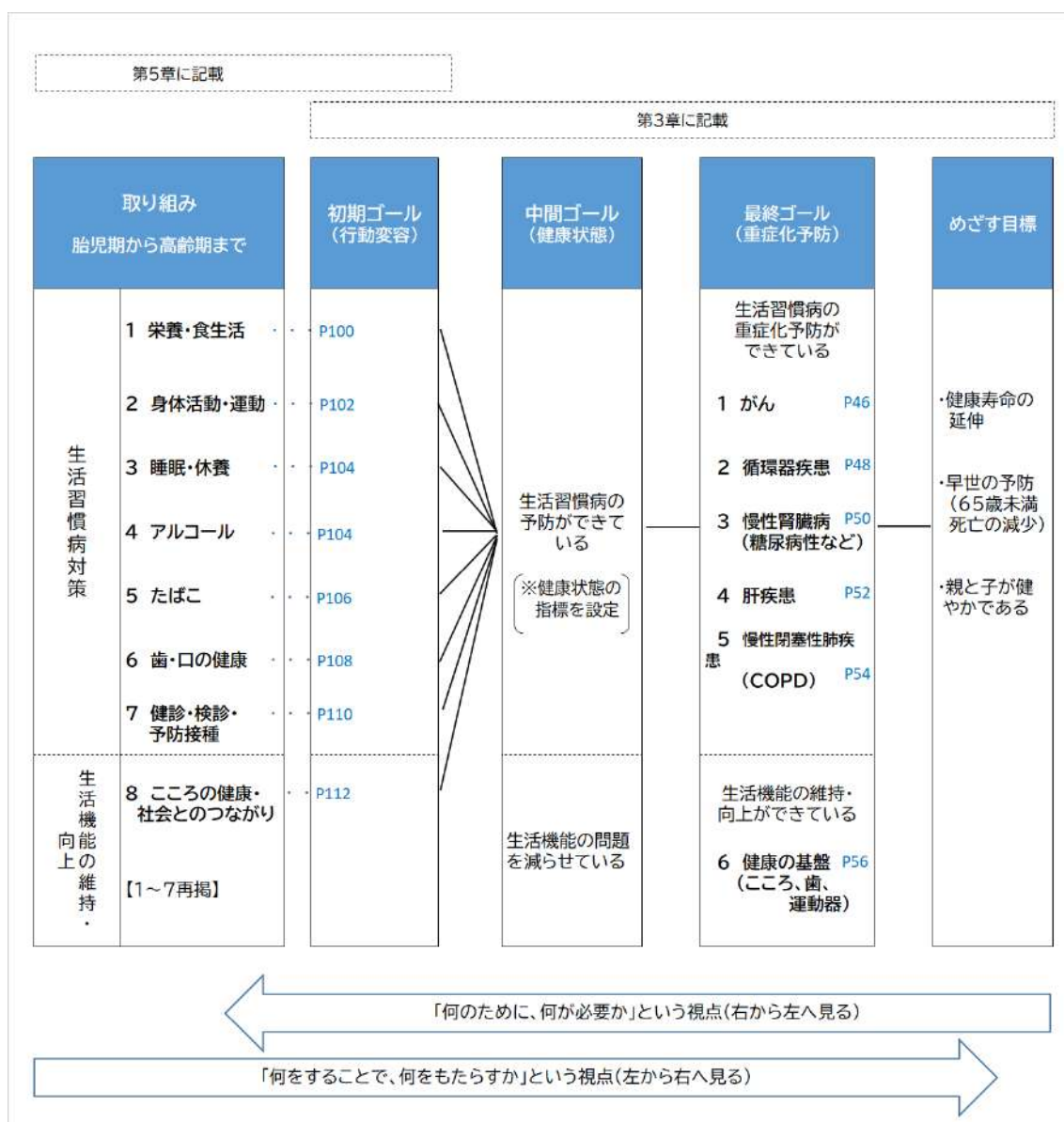


出典：（市・県）衛生統計年報（人口動態編）、（国）沖縄の母子保健

3. めざす目標を達成するための全体像

本計画では、ロジックモデル（結果と原因の因果関係を論理的に図式化したもの）を活用し、めざす目標の達成に向けて何が必要かを論理的に逆算し、最終ゴール（重症化予防）、中間ゴール（健康状態）、初期ゴール（行動変容）の指標と目標値を設定します。

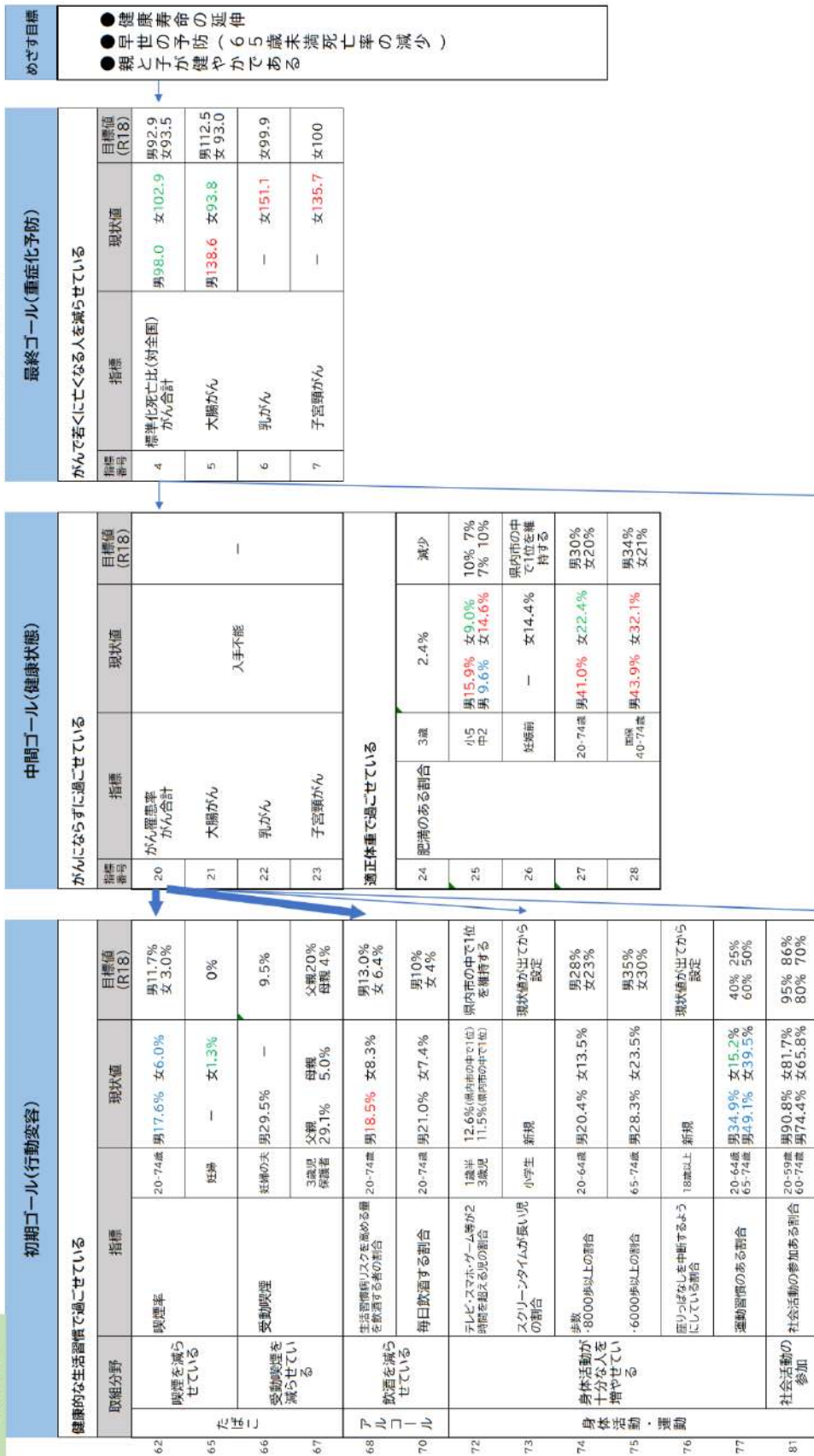
初期ゴール（行動変容）に対応した、8つの分野の生活習慣改善に取り組みます。



(1) がん

胎児期～高齢期まで
指標・目標値

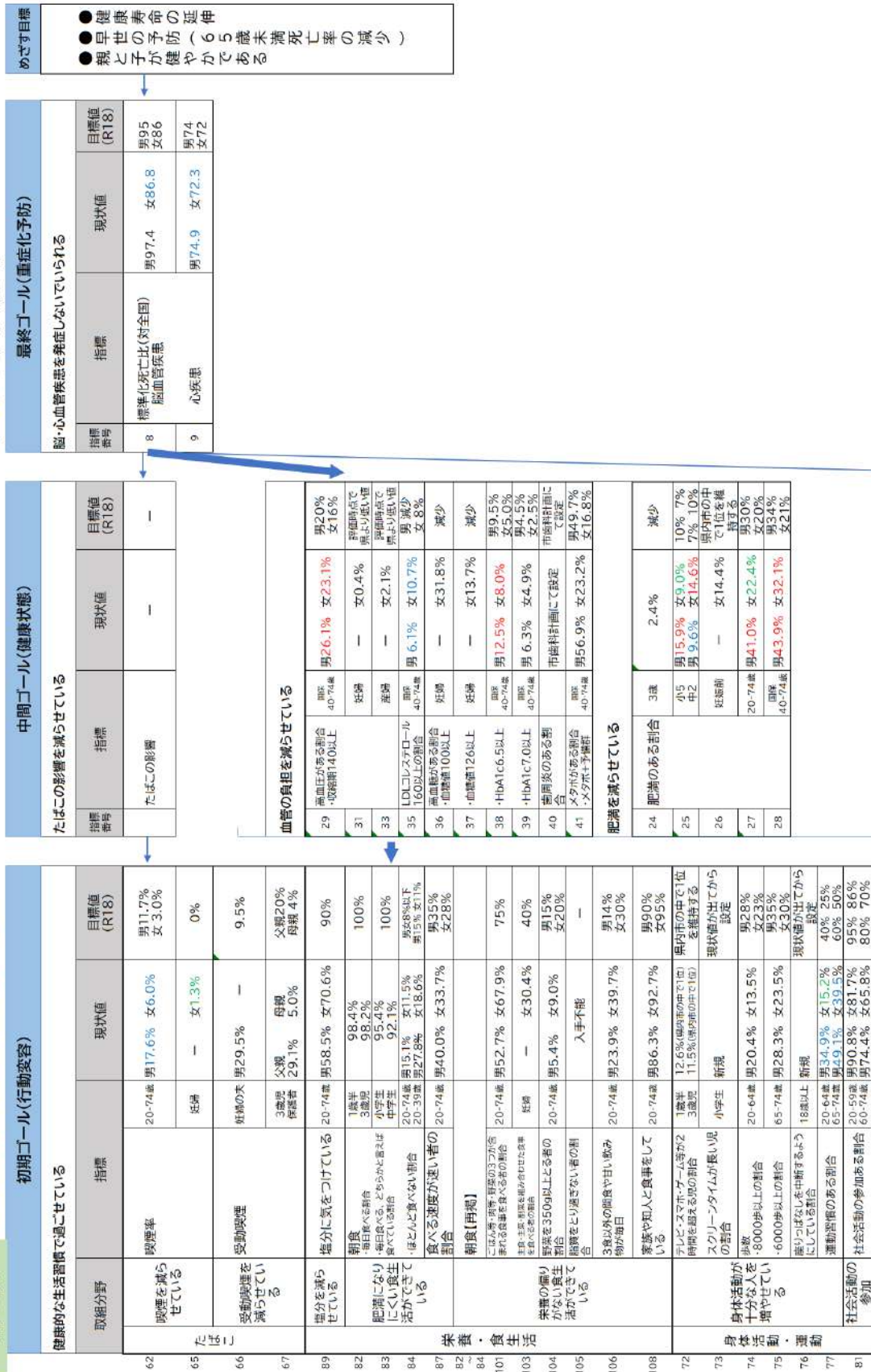
1 がん対策 ロジックモデル



(2) 循環器疾患

胎児期～高齢期まで
指標・目標値

2 循環器疾患対策 ロジックモデル



69	アルコール	生活習慣病リスクを高める量 を超過する者の割合	20・74歳	男18.5% 女8.3%	男13.0% 女6.4%
70	コ	毎日飲酒する割合	20・74歳	男21.0% 女7.4%	男10% 女4%
116	ール	妊婦の飲酒率	妊婦	— 女0.5%	0%
110	睡眠	夜10時以降に寝る児の割合	1歳半 3歳児	14.7%(県内市の平均) 26.9%(県内市の平均)	県内市の中で1位 を維持する
111		睡眠時間が必要な者の割合	20・59歳	58.0%	65%
112		6～9時間	60・74歳	53.7%	60%
114		睡眠による休養がとれてい る者の割合	20・59歳 60・74歳	68.5% 82.6%	75% 90%
117		前日仕上げ髪をする際の 割合	1歳出 3歳児	84.5% 91.5%	95%
118		日頃のケア ができてい る	3歳児	87.8%	90%
119	歯	フッ化物塗布を受けたことの ある割合	20・74歳	男21.0% 女36.9%	市歯科計画にて設 定
121	口	歯科健診受診率	2歳児	66.3%	市歯科計画にて設 定
122		歯科健診受診率	20・74歳	男50.2% 女67.0%	市歯科計画にて設 定
123		歯周病健診受診率	40・50・ 60・70	4.4%	市歯科計画にて設 定
124		歯科健診受診率	妊婦	— 現状値なし	市歯科計画にて設 定

(ベース)低出生体重児を減らしている
※将来、肥満や生活習慣病になりやすくなるため

3	低出生体重児の割合	12.0%	評価時点で国 の値を目指す
42	体重増加量が少 ない割合	妊婦	— 入手不能
31	【市域】高血圧の ある割合	妊婦	—
43	歯周炎のある割 合	妊婦	— 入手不能
44	やせのある割合	妊婦前	— 女14.5%
45	貧血のある割合	妊婦	— 女35.5%

(3) 慢性腎臓病（糖尿病性など）

胎児期～高齢期まで
指標・目標値

3 慢性腎臓病（糖尿病性 ほか）対策 ロジックモデル

青字: 国と比較して良い 緑字: 国と同等 赤字: 国と比較して悪い 黒字: 国と比較できない
→ 太い矢印: 特に関連が強い

初期ゴール(行動変容)				中間ゴール(健康状態)				最終ゴール(重症化予防)				めざす目標 ●健康 ●早世の寿命の延伸 ●親子が健康やかである (65歳未満死亡率の減少)	
健康的な生活習慣で過ごしている				血管の負担を減らせている				慢性腎臓病の重症化を予防できている					
取組分野	指標	現状値	目標値 (R18)	指標	現状値	目標値 (R18)	指標	指標	現状値	目標値 (R18)			
肥満になりにくい食生活が定着している	朝食 ・毎日食べる割合 ・毎日食べる、どちらかと言えは食べている割合	1歳半 3歳児 小学生 中学生 98.4% 98.2% 95.4% 92.1%	100%	高血糖がある割合 ・血糖値100以上	妊婦 — 妊婦 —	減少 減少	10 新規診断患者数 (国保40～74歳)	5人	減少	●健康 ●早世の寿命の延伸 ●親子が健康やかである (65歳未満死亡率の減少)			
	・ほとんど食べない割合	20-74歳 20-39歳 男15.1% 男27.8% 女11.5% 女18.6%	男女8%以下 男15% 女11%	・HbA1c6.5以上	妊婦 40-74歳 男12.5% 女8.0%	男9.5% 女5.0%							
	食べる速度が速い者の割合	20-74歳 男40.0% 女33.7%	男35% 女28%	・HbA1c7.0以上	妊婦 40-74歳 男6.3% 女4.9%	男4.5% 女2.5%							
	朝食【再掲】 ごはん・味噌汁・野菜の3つからみられる食事量減る割合	20-74歳 男52.7% 女67.9%	75%	糖尿病のある割合	市医師計画にて設定	市医師計画にて設定							
栄養・食生活 米量の偏りが少ない食生活が定着している	主食・主菜・副菜を組み合わせる割合	妊婦 — 女30.4%	40%	高血糖がある割合 ・収縮期140以上	妊婦 40-74歳 男26.1% 女23.1%	男20% 女16%	36 37 38 39 40 29 31 33						
	米量を350g以上とする者の割合	20-74歳 男5.4% 女9.0%	男15% 女20%		妊婦 — 女0.4%	評価時点で 県より低い値							
	脂質をとり過ぎない者の割合	— 入手不能	—		産婦 — 女2.1%	評価時点で 県より低い値							
	3食以外の間食や甘い飲み物の毎日	20-74歳 男23.9% 女39.7%	男14% 女30%										
身体活動が十分な人を増やしている	家族や知人と食事をして物か毎日	20-74歳 男86.3% 女92.7%	男90% 女95%	肥満を減らせている	24 25 26 27 28	2.4% 3歳 小5 中2 妊婦前 — 女14.4% 男41.0% 女22.4% 男43.9% 女32.1%							
	テレビ・スマホ・ゲーム等が2時間を超える男の割合	1歳半 3歳児 12.6% (県内市の中で1位) 11.5% (県内市の中で1位)	県内市の中で1位を維持する										
	スクリーンタイムが長い児の割合	小学生 新規	現状値が出てから設定										
	歩数 ・8000歩以上の割合	20-64歳 男20.4% 女13.5%	男28% 女23%										
身体活動・運動 座りっぱなしを中断するようになっている割合	・6000歩以上の割合	65-74歳 男28.3% 女23.5%	男35% 女30%	24 25 26 27 28	2.4% 3歳 小5 中2 妊婦前 — 女14.4% 男41.0% 女22.4% 男43.9% 女32.1%	減少 10% 7% 10% 県内市の中で1位を維持する 男30% 女20% 男34% 女21%							
	座りっぱなしを中断するようになっている割合	18歳以上 新規	現状値が出てから設定										
	運動習慣のある割合	20-64歳 65-74歳 男34.9% 女15.2% 男49.1% 女39.5%	40% 25% 60% 50%										
	社会活動の参加ある割合	20-59歳 60-74歳 男90.8% 女81.7% 男74.4% 女65.8%	95% 86% 80% 70%										
社会活動の参加	—	—	—										

62	喫煙を減らしている	喫煙率	20-74歳	男17.6% 女6.0%	男11.7% 女3.0%
65			妊婦	—	女1.3%
66	受動喫煙を減らしている	受動喫煙	妊婦の夫	男29.5%	—
67			3歳児保護者	父親29.1% 母親5.0%	父親20% 母親4%
110		夜10時以降に寝る児の割合	1歳児3歳児	14.7%(低め市の平均(4)) 26.9%(高め市の平均(4))	県内市の中で1位を維持する
111	睡眠	睡眠・休息をしっかりとれている人を増やしている	睡眠時間が十分な者の割合	20-59歳	65%
112			6-9時間	58.0%	60%
114			6-8時間	53.7%	75% 90%
114		睡眠による休養がとれている者の割合	20-59歳 60-74歳	68.5% 82.6%	
89	食生活	塩分を減らしている	塩分に気をつけている	20-74歳	男58.5% 女70.6%
68	アルコール	生活習慣病リスクを高める量を飲酒する者の割合	20-74歳	男18.5% 女8.3%	男13.0% 女6.4%
70		飲酒を減らしている	毎日飲酒する割合	20-74歳	男10% 女4%
116		妊婦の飲酒率	妊婦	—	女0.5%
117	歯・口	日頃のケアができている	毎日仕上げ磨きをする親の割合	1歳児3歳児	84.5% 91.5%
118			フッ化珪素布を付けたここのある割合	3歳児	87.8%
119			歯磨ブラシ又はフロスを毎日使う割合	20-74歳	男21.0% 女36.9%
121		歯科健診受診率	2歳児	66.3%	市歯科計画にて設定
122		歯科相談受診ができている	20-74歳	男50.2% 女67.0%	
123			40-50歳 60-70歳	4.4%	
124		歯科健診受診率	妊婦	—	現状値なし

健康・検診の受診、予防接種ができている

125	健診・検診	乳がん健診受診率	乳児1歳児3歳児	94.3% 96.6% 95.0%	97%
126		健診受診ができていない	健診を毎年受けている	40-74歳 男78.1% 女72.0%	85%
128		特定健診受診率	面保 40-74歳	32.8%	60%
129		長寿健診受診率	75歳以上	31.9%	36.5%(R11)

通院、服薬、生活習慣の見直しができている

130	健康増進	特定保健指導受診率	面保 40-74歳	71.4%	60%以上(R11)
-----	------	-----------	-----------	-------	------------

(ベース)低出生体重児を減らしている
※将来、肥満や生活習慣病になりやすくなるため

3	低出生体重児の割合	12.0%	評価時点で国の値を目標とする
42	体重増加量が少ない割合	—	入手不能
31	【母体】高血圧のある割合	妊婦	—
43	歯周炎のある割合	妊婦	—
44	やせのある割合	妊娠時	女14.5%
45	貧血のある割合	妊婦	女35.5%

参考資料
・糖尿病診療ガイドライン P468
・標準的な健診・保健指導ガイドライン

(4) 肝疾患

胎児期～高齢期まで
指標・目標値

青字:国と比較して良い 緑字:国と同等 赤字:国と比較して悪い

太い矢印:特に関連が強い

最終ゴール(重症化予防)

肝疾患の重症化を予防できている				
指標番号	指標	現状値	目標値(R18)	
11	標準化死亡率(対全国)肝疾患	男208.9 女141.6	男170 女120	

中間ゴール(健康状態)

脂肪肝を減らせている				
指標番号	指標	現状値	目標値(R18)	
46	肝機能異常がある割合 γ-GTP51以上	男25.5% 女10.3%	男23% 女8.5%	
47	γ-GPT(ALT)31以上	男20.9% 女11.6%	男17% 女9.6%	

肥満を減らせている				
指標番号	指標	現状値	目標値(R18)	
24	肥満のある割合	3歳	減少	
25		小5中2	男15.9% 女9.0% 男9.6% 女14.6%	10% 7% 7% 10%
26		妊婦前	— 女14.4%	県内市の中で1位を維持する
27		20-74歳	男41.0% 女22.4%	男30% 女20%
28		妊婦 40-74歳	男43.9% 女32.1%	男34% 女21%

初期ゴール(行動変容)

取組分野	指標	現状値	目標値(R18)	
アルコール	生活習慣病(リスクを高める)を飲酒する者の割合	20-74歳 男18.5% 女8.3%	男13.0% 女6.4%	
	毎日飲酒する割合	20-74歳 男21.0% 女7.4%	男10% 女4%	
朝食	毎日食べる割合	1歳半3歳児 98.4% 98.2%	100%	
	毎日食べる、どちらかと言えば食べている割合	小学生中学生 95.4% 92.1%	100%	
肥満になりにくい食生活ができて	ほとんど食べない割合	20-74歳 男15.1% 女11.5% 20-39歳 男27.8% 女18.6%	男8%以下 男15% 女11%	
	食べる速度が速い者の割合	20-74歳 男40.0% 女33.7%	男35% 女28%	
朝食【再掲】	ごはん、味噌汁、野菜の3つが含まれる食事をする者の割合	20-74歳 男52.7% 女67.9%	75%	
	1日3食、野菜、果物を組み合わせた食事をする者の割合	妊婦 — 女30.4%	40%	
栄養の偏りがない食生活ができて	朝食を350g以上とる者の割合	20-74歳 男5.4% 女9.0%	男15% 女20%	
	睡眠をとり過ぎない者の割合	入手不能	—	
3食以外の間食や甘い飲み物が毎日		20-74歳 男23.9% 女39.7%	男14% 女30%	
	家族や知人と食事をしている	20-74歳 男86.3% 女92.7%	男90% 女95%	

めざす目標

- 健康寿命の延伸
- 早世の予防
- 親と子が健康である(65歳未満死亡率の減少)

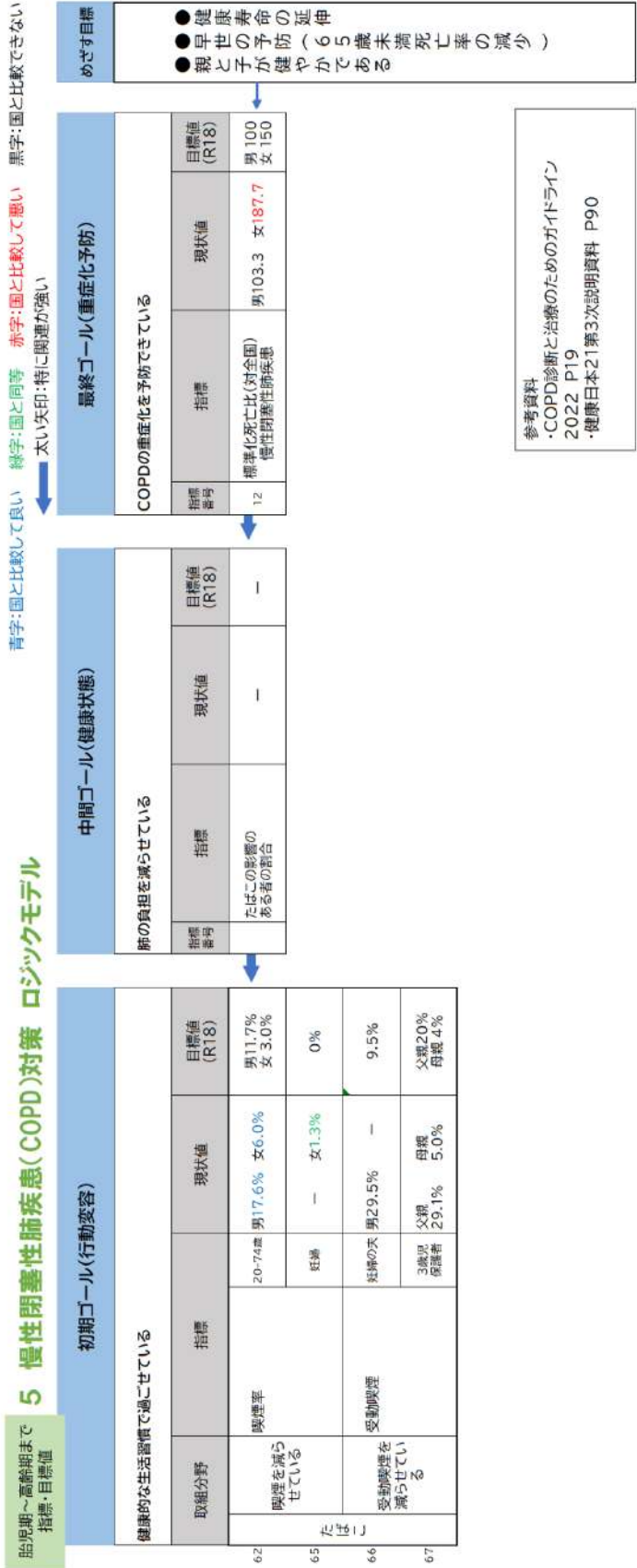
肝疾患の進行につながる因子を減らしている					
11	高血圧がある割合 ・血圧値100以上	妊婦	—	女31.8%	減少
12	・血圧値126以上	妊婦	—	女13.7%	減少
9	・HbA1c6.5以上	国保 40~74歳	男12.5% 女8.0%		男9.5% 女5.0%
10	・HbA1c7.0以上	国保 40~74歳	男6.3% 女4.9%		男4.5% 女2.5%
12	メタボがある割合 ・メタボ+予備群	国保 40~74歳	男56.9% 女23.2%		男49.7% 女16.8%
2	高血圧がある割合 ・収縮期140以上	国保 40~74歳	男26.1% 女23.1%		男20% 女16%
4		妊婦	—	女0.4%	妊娠時点で 県より低い値
6		産婦	—	女2.1%	妊娠時点で 県より低い値

72	テレビ・スマホ・ゲーム等が2 時間を超える児の割合	1歳半 3歳児	12.6%(県内市の中で1位) 11.5%(県内市の中で1位)	県内市の中で1位 を維持する
73	スクリーンタイムが低い児 の割合	小学生	新規	現状値が出てから 設定
74	身体活動が 十分な人を 増やしてい る	20~64歳	男20.4% 女13.5%	男28% 女23%
75	・歩数 ・8000歩以上の割合	65~74歳	男28.3% 女23.5%	男35% 女30%
76	・6000歩以上の割合	18歳以上	新規	現状値が出てから 設定
77	産りっぱなしを中断するよう にしている割合	20~64歳 65~74歳	男34.9% 女15.2% 男49.1% 女39.5%	40% 25% 60% 50%
81	運動習慣のある割合	20~59歳 60~74歳	男90.8% 女81.7% 男74.4% 女65.8%	95% 86% 80% 70%
110	社会活動の 参加	夜10時以降に寝る児の割合	1歳半 3歳児	14.7%(県内市の中で1位) 26.9%(県内市の中で1位)
111	睡眠・休養を しっかりとれ ている人を 増やしてい る	睡眠時間が十分な者の割合 ・6~9時間	20~59歳	58.0%
112		・6~8時間	60~74歳	53.7%
114		睡眠による休養がとれてい る者の割合	20~59歳 60~74歳	68.5% 82.6%
				75% 90%

健診・検診の受診、予防接種ができています				
125	乳幼児健診受診率	乳児 2歳半 3歳児	94.3% 96.6% 95.0%	97%
126	健診を毎年受けている	40~74歳	男78.1% 女72.0%	85%
128	健診受診が できている	特定健診受診率 40~74歳	32.8%	60%
129	長寿健診受診率	75歳以上	31.9%	36.5% (R11)
通院、服薬、生活習慣の見直しができている				
130	必要の保健指導 を受けている	国保 40~74歳	71.4%	60%以上 (R11)

参考資料
・NAFLD・NASH診療ガイド

(5) 慢性閉塞性疾患 (COPD)





(6) 健康の基盤 (こころ・歯・運動器)

胎児期・高齢期まで
指標・目標値

6 健康の基盤(こころ・歯・運動器)の維持・向上 ロジックモデル

青字:国と比較して良い 緑字:国と同等 赤字:国と比較して悪い 黒字:国と比較できない
太い矢印:特に関連が強い

初期ゴール(行動変容)				中間ゴール(健康状態)				最終ゴール(重症化予防)				めざす目標
取組分野	指標	現状値	目標値 (R18)	指標	現状値	目標値 (R18)	健康の基盤(こころ・歯・運動器)の問題を予防できている	指標	指標	現状値	目標値 (R18)	
健康やかなこころ、歯、からだを作る生活習慣で過ごせている				健康の基盤(こころ・歯・運動器)の問題を予防できている				健康の基盤(こころ・歯・運動器)の維持ができている				●健康と世の寿命の延伸 ●乳幼児の健康で5歳未満死亡率の減少)
※生活習慣病予防の生活習慣ができている				こころにゆとりを持って過ごせている				心理的苦痛が軽減できている(精神的に追い込まれていない)				
110	睡眠による心身の休養がとれている	夜10時以降に寝る乳児の割合 1歳半 3歳児 14.7%(県内市の中で1位) 26.9%(県内市の中で1位)を維持する	県内市の中で1位を維持する	悩み、ストレスを感じている割合	20・74歳 男58.5% 女67.3%	減少	48	産後うつハイリスク者の割合	産婦 平均 乳児前期 1歳半 3歳児	13.16	9.21% (R11)	安全安心な子育てができている
111	睡眠・休養を確保時間が十分な者の割合	20・59歳 60・74歳 58.0%	65%	ゆつたりとした気分です子どもと過ごす時間がある母親の割合	平均 乳児前期 1歳半 3歳児 85.3% 93.3% 84.2% 78.3%	減少	51	この地域で子育てしたいと思う親の割合	乳児前期97.4% 乳児後期95.4% 1歳半 96.0% 3歳児 97.1%			
112	睡眠を増やしている人	60・74歳 53.7%	60%	車幼児期に体罰や暴言によらない子育てをしている親の割合	乳児 1歳半 3歳児 95.6% 87.3% 77.5%		52					
114	睡眠による休養がとれている者の割合	20・59歳 60・74歳 68.5% 82.6%	75% 90%									
人とのつながりが持っている				こころの健康・社会とのつながり				こころの健康・社会とのつながり				こころの健康・社会とのつながり
81	社会活動の参加のある割合	20・59歳 60・74歳 男90.8% 女81.7% 男74.4% 女65.8%	95% 86% 80% 70%	乳幼児期の子育てをサポートしてくれる人がいる割合	乳児前期 1歳半 3歳児 95.3% 93.9% 92.7%	増加	108	家族や知人と食事をして	20・74歳 男86.3% 女92.7%			
131	人とのつながりがある人											
悩み、ストレスへの対応ができている				メンタルヘルス対策ができている				メンタルヘルス対策ができている				こころの健康・社会とのつながり
132	個人が悩みや不安を抱え打ち明けることのできる人がある割合	20・74歳 男81.0% 女86.9%	90%	メンタルヘルス対策ができている								
134	家族・友人・知人の相談窓口として、こころを悩ませる人がある割合	産婦 参考値:88.2% (とみこころを知っている)	100%									
135	家族・友人・知人の相談窓口として、こころを悩ませる人がある割合											
136	家族・友人・知人の相談窓口として、こころを悩ませる人がある割合											
137	家族・友人・知人の相談窓口として、こころを悩ませる人がある割合											

